



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		比較
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
3月平均気温（℃）	1.0	1.6	3.3	3.0	3.6	4.2	2.7	2.9	平年比－0.2℃
3月降水量（mm）	13.0	18.9	5.5	25.9	24.0	21.8	42.5	66.6	平年比 64%
3月日照量（h）	52.3	48.6	61.8	60.5	51.9	68.1	166.0	177.2	平年比 94%

- 氷点下－10℃以下：18日（最低 2/1 －14.8℃、内訳 12月：1回、1月：7回、2月：7回） ＊前年 11日
- 3月上旬気象特記
気温（やや低い）：平年比－0.6℃。低温：3/4 －7.7℃、3/7 －5.5℃
降水量（少ない）：平年比 68.7%。3/2～3 合計 11.0 mm ⇒ 融雪進む（南部地帯）
日照量（多い）：平年比 107%。
- 3月中旬気象特記
気温（やや高い）：平年比+0.3℃。高温：3/13 13.7℃、3/18～20 10℃超え。⇒生育進む？
降水量（極小）：平年比 21%。
日照量（やや多い）：平年比 102%
- 3月下旬気象特記
気温（やや低い）：平年比－0.6℃。3/20 13.0℃。
降水量（少ない）：平年比 51.3%。3/21～22 合計 12.5 mm。3/26～27 合計 11 mm。3/24：降雪。
日照量（少ない）：平年比 76.2%。
- 3月気象特記
気温（やや低い）：平年比－0.2℃。最高 3/30 15.6℃。最低 3/4 －7.7℃。
降水量（少ない）：平年比 64%。最大 3/27 9.5 mm。
日照量（少ない）：平年比 94%。
- H29 開花予想
発芽は昨年より 7 日遅れであるが、土壌水分が保持されており、今後の気温上昇で一気に関花まで進む可能性がある。このまま経過すれば、H27 年より遅く、H26 年より早い見込み。

年度	りんご開花	もも開花	プラム開花	南水開花	特記事項
H18	5/5	4/28	4/23	4/30	豪雪
H26	5/2	4/23	4/17	4/26	豪雪
H27	4/27	4/18	4/12	4/24	暖冬
H28	4/21	4/10	4/6	4/17	暖冬
H29	4/28？	4/18？	4/16？	4/25？	H26より早く H27より遅い？

● 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

● 加温ハウスサクラランボ（3.15 現在）

- ◆ 低温積算到達：12/25 1,000 時間、1/5 1,200 時間、1/13 1,400 時間。平年比 2～3 日遅れ。
 - ◆ 被覆状況：46 棟（内訳：12 月 2 棟、1 月 10 棟、2 月 21 棟、3 月 9 棟、観光 4 棟）観光を除き、加温予定ハウスは被覆完了。
 - ◆ 1/14～17 の大雪により、被覆が遅れるハウスもあったが、晴れ間を見ながら被覆が進められた。
 - ◆ 1/14～各棟本格的な加温が始まる。ハウスで雪害が発生。加温 1 棟、雨除け 2 棟。
 - ◆ 初出荷 3/20。出荷ピークは 5 月中旬となる見込み。
- ◎ 加温ハウスもも（2 月末）1 棟被覆
- ・ 2/24 満開（昨年並） 出荷開始は 5/10 前後。

● プラム（3/22）

- ◆ 発芽予想：南部 3/23 頃、平岡 3/26 頃、北部 3/29 頃 昨年比 8 日遅れの見込み。
- ◆ 豪雪による被害は棚の半壊が 1 件、主幹、主枝等の枝折れ多数発生。癒合が悪いため、枯れこみ心配される。
- ◆ 南部地区の秋姫や貴陽の花芽が割れてきているが、発芽には至らず平年より 3 日程度遅れると思われる。
- ◆ 開花予想（太陽）：南部 4 / 1 2 頃、平岡 4 / 1 6 頃、北部 4 / 1 9 頃（平年より 2 日、昨年より 1 0 日遅い）
- ◆ 積雪の影響で、北部の一部園地では発芽前の防除が遅れ「ふくろみ病」の発生が心配される。
- ◆ カイガラムシ類の寄生が目立つ。休眠期のマシン油の散布を確実に行う。
- ◆ シンクイムシ類の越冬数が多いと予想されるため、落花期の防除から対策が必要。

● りんご

- ◆ H29 ふじ健全花芽率は 50%前後と昨年より悪い状況。秋季の高温により褐変花芽率も高い。
- ◆ 1/14～17 豪雪により老木樹の枝折れ被害発生。被害部からの枯れこみが心配される。
- ◆ 二次伸長芽が非常に多い。昨秋の高温が影響か。
- ◆ 腐らん病の発生が 2 月から目立つ。病斑部の削り取りや除去は早めに進める。
- ◆ 老木樹を中心に枝折れが多く、29 年度の収量に影響が出る模様。
- ◆ うどんこ病被害芽（ボケ芽）が各地多い。剪定時にだきるだけ除去し密度を抑制したい。
- ◆ 開花予想（ふじ）：南部 4/25 頃、平岡 4/28 頃、北部 5/1 頃

● 柿（2 月末）

- ◆ 2/24 出荷終了。出荷量(前年対比)：市田柿 116%、ころ柿 154%。
- ◆ 生産：条紋果多発、熟度のバラツキ、果肉成熟先行による未熟果収穫で渋味果、袋柿化、ヘタ下黄化が散見。
- ◆ 加工：カビ少発。1 月上旬の温度低下で粉うす果、乾燥不足によるモドリが散見された。
- ◆ 販売：クレーム無し。1 月の価格低迷により出荷調整対応を実施した。
- ◆ 総括：出荷量は増加したものの価格が低く、販売金額は微減となった。定期的な巡回で原料柿の品質向上指導、各生産者の作業進度に応じた加工・荷造り指導を通して、1 2 月の早期出荷を促していく。

H29 生育予想

現状では果樹類の生育は昨年比 7 日程度の遅れ。発芽期はプラム太陽（平岡）で 3/27、もも白鳳（平岡）で 4/5 頃、南水（長丘）で 4/7 頃、ふじ（平岡）で 4/7 頃。

過去 20 年で最も生育が進んだ H28 年は 2 月から好天・高温が続き発芽が非常に早く、その勢いのまま満開までに到達。発芽～満開までの到達日数は平年より 7 日前後早かった。

- パターン①：発芽が早く又はやや早く、ほぼ平年並みの日数で満開まで到達（H14・H16・H27）
- パターン②:発芽が平年並み又はやや早い、その後の急激な高温で平年より短い日数で満開まで到達。(H10)
- パターン③：発芽が非常に早く、満開まで平年より 7 日以上早く到達（H28）

H29 は残雪が多かったが、3 月初旬には融雪が進む、地温が高く、土壤水分が豊富であるので、今後の気温上昇次第で一気に進む可能性がある。（上記のパターン②に該当か）近年の豪雪年は H26。3 月末時点での残雪量は H29 より多く、生育はほぼ平年並みであった。H26 生育を参考に H27・28 の生育進みを考慮すると初期生育は H28 より 7 日程度遅れ、平年よりやや早いことが予想される。昨年は暖冬・小雪のため南北の生育差はほぼ無かったが、地域により残雪量の差があるため今年は 7 日程度の差が出るのが予想される。

H28 は発芽期以降も大きなブレーキがかかることなく進み各品目の開花期が重なることなく、生育の早い順に開花した。H29 は発芽が平年並みでその後の高温で生育が一気に進むと仮定すれば、各品目の開花期が重なる可能性は高い。加えて、土壤水分が豊富な年ほど一気に開花～満開まで到達することが多いので、管理作業は遅れないように注意したい。

開花予想：プラム（4/14）、もも白鳳（4/18）、南水（4/25）、ふじ（4/28）。南北差：5 日程度か。

プラム 太陽				
年度	発芽	開花	満開	満開到達日数
平年	3月24日	4月16日	4月22日	29
H25	3月22日	4月13日	4月18日	26
H26	3月30日	4月17日	4月25日	26
H27	3月22日	4月12日	4月16日	24
H28	3月18日	4月6日	4月12日	25
H29	3月27日			

もも 白鳳				
年度	発芽	開花	満開	満開到達日数
平年	4月1日	4月21日	4月27日	26
H25	3月28日	4月18日	4月25日	28
H26	4月2日	4月23日	4月29日	27
H27	3月31日	4月18日	4月23日	23
H28	3月30日	4月10日	4月17日	18
H29				

和梨 南水				
年度	発芽	開花	満開	満開到達日数
平年	4月7日	4月25日	4月29日	22
H25	4月5日	4月25日	4月29日	24
H26	4月10日	4月26日	4月30日	20
H27	4月3日	4月24日	4月26日	23
H28	4月1日	4月17日	4月19日	18
H29				

りんご ふじ				
年度	発芽	開花	満開	満開到達日数
平年	4月4日	5月1日	5月3日	31
H25	4月1日	5月2日	5月6日	35
H26	4月3日	5月2日	5月3日	30
H27	3月31日	4月27日	4月29日	29
H28	3月31日	4月21日	4月23日	23
H29				